

《 競 技 注 意 事 項 》

1. 本大会は、2022年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項・監督会議申し合わせ事項により実施する。日本陸上競技連盟が示す「陸上競技活動再開についてのガイダンス」に基づき実施する。
2. 練習及びウォーミングアップは、補助競技場で行うこと。室内走路の使用は禁止とする。※開場7:00～
 - ①フィールド内(芝生部分)でのジョギングやドリル等は禁止とする。
 - ②第4コーナーでの流しやバトン練習は禁止とする。1、2レーンは周回レーンとする。
 - ③投てき競技の練習は、「競技場の使用について」の項を参照すること。ハンマー投の練習は大会期間中は禁止とする。
3. 招集について
 - ①競技開始時刻の**40分前**までに**競技場内記録室前の簡易招集所**で自分のナンバーに○をつける。
 - ②トラック競技はスタート地点、4×100mRは各スタート場所に**競技開始10分前**、フィールド競技は現地に**競技開始30分前**までに集合する。この時刻が招集完了時刻になる。
4. リレーオーダー用紙は、最初の組の招集完了時刻の1時間前までに簡易招集所に提出すること。
5. 番組編成について(走路順・試技順)
 - ①予選におけるトラック競技者の走路順、跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。
 - ②トラック競技の決勝に進む+αの決定について
 - (1)全競技、写真判定の記録順による。
 - (2)800mまでの競走とリレー競技において同タイムの場合は、写真判定の拡大写真(0.001秒)による。それでも同着の場合は抽選とする。
 - (3)1500mの競走においては、同記録の競技者はすべて次のラウンドに進める。
6. 規定外のシューズの使用を認めない。

種 目	フィールド種目 (三段跳を除く)	三段跳	トラック種目 (ハートル種目を含み、 800m未満の種目)	トラック種目 (障害物競争を含み、 800m以上の種目)
ソール最大厚さ	20mm	25mm	20mm	25mm

7. バーの上げ方について

- ①走高跳・棒高跳の練習の高さ及びバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後
走高跳(男子)	1m50・1m65	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	+3cm
走高跳(女子)	1m10・1m40	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	+3cm
棒高跳(男女)	選手・天候の状況により、決定する。								

- ②第1位が同成績の場合は順位決定を行う。また、県大会出場決定試技も行う。そのためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

8. 県大会出場について

- ①県大会の出場枠については、福島陸協のホームページ記載のとおりとする。

9. 一般注意事項

短距離走では、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)に沿って走り、他の選手の走路を妨害しないようにすること。

10. 競技欠場と多種目同時出場の取り扱いについて(用紙は招集所に準備)

- ①トラック競技は競技開始40分前までに「欠場届」または、「多種目同時出場届」を簡易招集所に提出する。
- ②フィールド競技は競技開始1時間前までに「欠場届」または、「多種目同時出場届」を簡易招集所に提出する。
- ③リレー競技はリレーオーダー用紙提出時間までに欠場届を簡易招集所に提出する。

11. 各種目3位まで賞状を授与する。各決勝種目後の表彰は実施しない。賞状は会議室1に準備する。

12. その他

- ①コロナウイルス感染拡大防止のため、集団応援を含む応援はすべて禁止とする。
- ②該当種目に出場する選手以外は競技場に入らないこと。また、正面入口及び本部役員席前は通行禁止とする。
- ③更衣室の使用については、入室する人数を制限し、滞在は短時間にすること。
- ④室内走路は使用禁止とする。
- ⑤滑り止め(炭酸マグネシウム)は各自準備することとする。

参加者数一覧

参加区分	男	女	計
中学校	100	81	181
高校	387	176	563
一般	43	4	47
合計	530	261	791